

平成 29 年 3 月 17 日

各位

株式会社アルデプロ

### 当社の足元の状況について

当社は、平成 29 年 3 月 17 日付で「平成 29 年 7 月期 第 2 四半期決算短信」を公表しておりますが、当社の足元の状況及び今期計画の見込みについて下記のとおりお知らせ申し上げます。

#### 記

##### 1. 在庫及び信託受益権について

当社は、平成 29 年 3 月 17 日発表の決算短信に記載のとおり平成 29 年 1 月末時点におきまして、在庫として販売用不動産 126 億 70 百万円、販売用不動産信託受益権 112 億 35 百万円を保有しております。

また、決算短信発表日に開示しております「販売用不動産の仕入契約締結に関するお知らせ」に記載のとおり、これらの販売用不動産の仕入価格は当社の平成 28 年 7 月期の連結純資産（48 億 9 百万円）の額の 30%相当額以上の金額であります。これらの販売用不動産の仕入により、既に当社グループが保有している販売用不動産は、売上高ベースで平成 29 年 7 月期通期連結業績予想の売上高 490 億円を超える販売用不動産を保有することになります。

##### 2. 販売用不動産の売却の見通し

販売活動の状況に関しましては、平成29年3月17日付「販売用不動産の売却の決定に関するお知らせ」で開示しております販売用不動産の売却価格は平成28年7月期の連結売上高（274億円）の10%以上の金額であります。また、上記物件の売却により利益面では、平成28年7月期の連結経常利益（33億円）の30%以上、親会社株主に帰属する当期純利益（30億円）の30%以上の利益が見込まれます。

加えて当社は、平成28年7月1日付「販売用不動産の仕入契約締結に関するお知らせ」に記載の東京都中央区所在の販売用不動産信託受益権を含め他の販売用不動産についても、今期中の売却に向け、現在、売却想定先と具体的な協議を継続しております。

なお、これらの販売用不動産が順次売却された場合、平成 29 年 7 月期通期連結業績予想の売上高及び利益ベースにおいても目標は十分に達成できる見込みです。

##### 3. 資本政策について

当社は、平成 26 年 12 月 29 日に EVO FUND に対して発行した第 3 回無担保転換社債型新株予約権付社債（以下、「本新株予約権付社債」といいます。）に関して、本新株予約権付社債の残額額面 15 億円を早期に買入償還する方針で、協議を進めております。買入償還が実現した場合には、潜在株式 8,615,738 株が消滅する見込みで希薄化懸念は払しょくされます。

以上